06 リスクコミュニケーション

食品安全委員会は、食品健康影響評価の結果や食品安全に関する基礎的な知識について、報道関係者、食品関係事業者、研究者、行政担当者、消費者等の様々な立場の方と意見・情報を交換しています。

2022年度は、2021年度と同様に新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、ウェブサイトやSNS（ソーシャルメディア）、YouTubeを活用した情報発信やオンラインによる意見交換会等に取り組みつつ、感染対策を行いながら対面での意見交換会も実施しました。

ウェブサイトやSNS、YouTubeを活用した情報発信

動画コンテンツを公開しました

2021年度に引き続き、動画コンテンツによる情報発信を積極的に行っています。

2021年10月からスタートした「農薬の再評価」についての解説動画を公開しました。農薬登録の全体像や、再評価制度の詳細などについてわかりやすく説明しています。農薬に関する基本的な安全確保の確認にご活用ください。

また、過去に行った食品安全に関する講義動画をリバイバル公開しています。食べ物の基礎知識や食品添加物、食品の保存や細菌など、幅広いテーマについて一般の方向けに解説しています。食品安全の基本を学びたい方や学生・従業員の教育などに活用ください。

2021年に公開し好評だった“加熱と調理”の動画シリーズについて、同じく調理科学が専門の香西みどり委員の解説で、4月に「トンカツ編」と「ハンバーグ編」を追加公開しました。関連して、2021年に公開していた「鶏肉編」「牛肉編」の低温調理解説動画については、SNS上での低温調理に関する話題と連動し、食品安全委員会公式Twitter等でタイムリーに注意喚起すると共に本動画を改めて紹介しました。

▲動画は食品安全委員会公式YouTubeにて視聴が出来ます。

オンラインを活用した情報提供と交流

意見交換会は、オンラインと対面、および両方を同時に実施するハイブリッド形式で、延べ14回開催しました。2022年度は対面での開催要望があったことから、感染対策に留意しながら対面でも多く実施しました。参加者の直接的な反応や、積極的な質疑などが得られる対面開催のメリットを再認識しつつ、オンライン開催の利便性も活用しながら、状況に応じて実施しました。

また、2022年度はオンラインでの会の様子を録画し、後日動画にて配信し、参加者の都合の良いタイミングで視聴出来るようにしました。今後も実施していきます。

意見交換会の参加者からは、「ポイントや背景にある考え方がよく分かった」「配信される動画を再度視聴して、復習したい」(意見交換会のアンケートから抜粋)などの意見が寄せられました。